

ごあいさつ



春陽の候、市民の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大から3年の年月が経ち、今まで当たり前のように過ごしていた私たちの生活は一変し、新生活様式で過ごす日々となりました。長期化するコロナ禍、感染症の終息は未だ見通せない状況が続くものと予想されますが、国においては、5月8日以降の感染症法上の分類見直しに向けて、具体的な調整が行われているところであり、本市においても社会経済活動の再開や新たな日常の到来を見据えて、各種事業の更なる進捗を期待するものです。

また、環境美化センターにおいてはすべての施設が完成したことに伴い3月19日に竣工式が執り行われました。

このような中、2月20日に開会した2月通常会議では71議案が提出され、当初予算案では、1,249億円の一般会計予算が組まれ、昨年比2.6億円の増と過去最大の規模となりました。2本の柱で構成され、1つ目が「ポストコロナ社会への課題と取組」、もう一つの柱が「大津市総合計画第2期実行計画」の推進であり、市民の皆様が「夢があふれるまち大津」を実感していただくため、これまでの取組の成果を顕現させることを念頭に置きつつ編成され、これを含めたすべての議案を可決成立しました。

市政の課題は山積していますが、市民の皆様が安心して住み続けられる大津市を目指し会派所属議員一丸となって引き続き取組んでまいります。4年

間ご支援、激励をいただきましたこと、感謝申し上げます。今後も湖誠会並びに会派所属議員に對しまして、更なるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

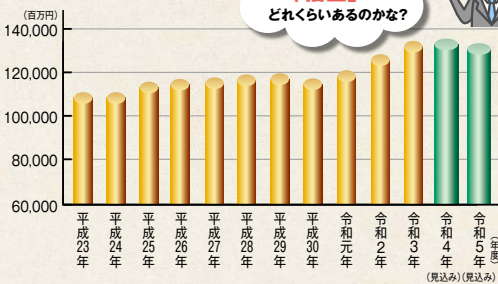
幹事長 近藤 真弘

右より

- 寺田 英幸 議員
- 竹内 基二 議員
- 竹内 照夫 議員
- 近藤 真弘 議員
- 川口 正徳 議員
- 草野 聖地 議員



一般会計の借入金(市債) 現在高の推移



令和5年度末市債残高見込額 総額 **127,233,228,000円** 市民一人当たり **369,569円**

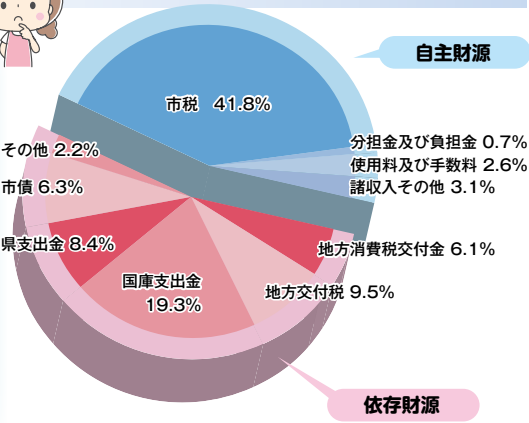
大津市の財政って大丈夫なの?

歳入解説

(市税の主な内容)

- 個人市民税、法人市民税、固定資産税は、個人所得の改善、事業の業績回復・大型建築物の増加見通しを反映し、市税全体として令和4年度当初比で2.8%の増収見込み。
- (全体) 市税収入や地方交付税などは堅調に推移する見込みであるが、中長期的な視点では、公共施設の維持管理経費の増加をはじめ、人口減少に伴う税収減少の可能性など、厳しい財政運営が想定される。

一般会計歳入予算額



令和5(2023)年度各会計予算額

一般会計	(0.2%)	1,249億円
特別会計(8会計)	(1.9%)	745億3,520万7千円
企業会計(3会計)	(5.3%)	334億6,073万5千円
合計	(1.5%)	2,328億9,594万2千円

※ 企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計

令和5年度予算が決まりました

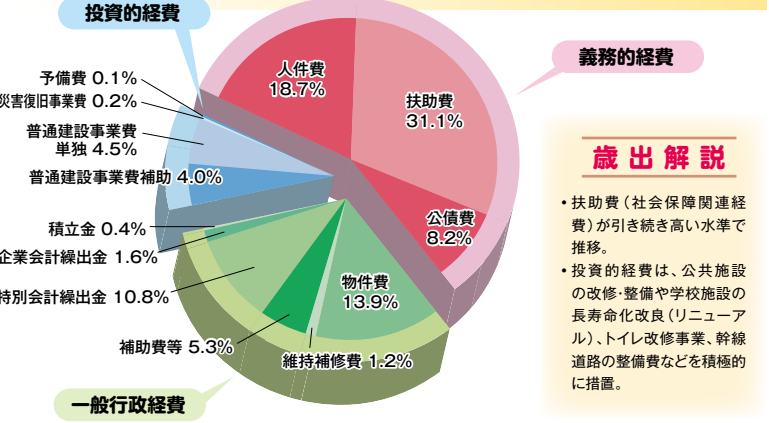
令和5年度当初予算が市議会2月通常会議において可決されました。

主な事業内容

長期化するコロナ禍の影響による出生数の減少や健康リスクの高まり、観光需要の落ち込みなどポストコロナで顕在化した地域社会や地域経済の課題に積極的に取り組むとともに、総合計画第2期実行計画のリーディングプロジェクトに基づく各種施策のさらなる推進を図って編成された予算となっております。主な事業は次のとおりです。

- **「ポストコロナ社会の課題への取組」**
- **「子ども子育て施策の強化」**
- 3人目以降の児童生徒に係る給食費の免除(新規) 5,290万円
- 中学校卒業までの医療費助成の拡充(充実) 10億4,265万円
- 市独自の新生児等特別定額給付金の継続(おつめはえ給付金)(継続) 8,176万円
- **「健康リスクの低減」**
- 医療提供体制の充実に向けた更なる支援(訪問診療や訪問看護体制の整備事業) 4,416万円
- **「地域経済の回復と活力ある地域づくり」**
- 市内への本社機能移転促進及び市内事業者への支援(新規) 5,500万円
- **「DX・GXの推進」**
- 市民センターへの無料公衆WiFi環境の整備(新規) 2,992万円

一般会計歳出予算額



歳出解説

- 扶助費(社会保障関連経費)が引き続き高い水準で推移。
- 投資的経費は、公共施設の改修・整備や学校施設の長寿命化改良(リニューアル)、トイレ改修事業、幹線道路の整備費などを積極的に措置。

市民一人当たりの予算額362,791円はこんなふうに使われます

民生費	47.4%	172,171円
総務費	12.0%	43,428円
教育費	11.4%	41,408円
衛生費	8.3%	30,018円
公債費	8.2%	29,848円
土木費	7.7%	27,938円
消防費	2.7%	9,940円
その他	2.3%	8,040円

※金額は一般会計の歳出額を令和5年2月1日現在の人口344,275人で割り戻した額 ※表中の%は歳出全体に占める割合

これからも市の財政に注目してね!

地域の課題をみなさんと、ともに考え、実行します

社会の変化により、行政は大きな**転換期**を迎えています。

みんなが主役になり、地域のために、自分たちで出来ることをそれぞれが考え、力をあわせると、とても大きなものになります。

これまでのルールを**見直し**、時代にあった**改善**も必要です。

ともに考えた事を実行し、**実現**するために、

行政に対してみなさんの思いを代弁する。

それが、このまちの議員の役割であると考えます。



一緒に、このまちの笑顔を増やしましょう😊



政調会長
くさのせいじ
草野聖地

〒520-0034
大津市三井寺町2番37号

- 生活産業常任委員会委員
- ICT活用対策特別委員会委員



幹事長
こんどうまさひろ
近藤真弘

〒520-2144
大津市大萱二丁目23番14号

- 議会運営委員会委員
- 総務常任委員会委員
- 公共施設対策特別委員会委員

湖誠会は、地域の皆様のお声を大切に 大津の将来を創造します

あなたとつなぐ信頼のきずな

移り変わる今を生きる皆様にとって、心豊かに暮らせる温かい大津を目指して、自分にできることは何かを常に考え、精進してまいります。



コロナ禍からの脱却に向けて
経済の立て直しと中小企業救済策の整備に
尽くしてまいります。

子育てと介護
子育て世代や高齢者が安心して生活できる
環境づくりを進めます。

地域活性化
商店街や商工会議所での活動を通して
地域の活性化に努めます。

歴史を大切にしたまちづくり
地域の伝統文化やまちなみなどの景観を
大切にしたまちづくりをすすめます。

交通安全
歩道整備やガードレールなど
身近な環境改善をはかります。

スポーツと健康
スポーツを通して
健康で明るいまちづくりを目指します。

防災
地域での防災活動を支援してまいります。

教育と環境
教育環境の整備と生涯学習の推進に努めます。



たけうちもとじ
竹内基二

〒520-0836
大津市杉浦町19番16号

- 総務常任委員会委員長
- ICT活用対策特別委員会委員



副幹事長
かわぐちまさのり
川口正徳

〒520-2271
大津市稲津一丁目15番18号

- 議会運営委員会副委員長
- 教育厚生常任委員会委員
- ゼロカーボンシティ推進対策特別委員会委員

やさしい心のあるまちへ

- お年寄りや体の不自由な方に安心なバリアフリーを進めます。
- 思いやりやいたわり、やさしい心を育む教育の充実に努めます。

きびしい心のあるまちへ

- 事故や犯罪は許さない！安全安心なまちづくりに努めます。
- いじめは許さない！心をつなぎ、いじめのないまちを目指します。

美しい心のあるまちへ



Otsu Re Born

- 琵琶湖の水質保全をはじめとする自然保護に努めます。

ときめく心のあるまちへ

- 市民の皆さまが明日への希望を持ち、可能性が生かせるまちを目指します。
- いつまでも未来にときめくことができる生涯学習の充実に努めます。

豊かな心のあるまちへ

- 女性の活躍を応援し、男女とも豊かさを感じるまちを目指します。
- 大津の誇る伝統文化や歴史資産を未来へと受け継ぐ施策に努めます。



たけうちてるお
竹内照夫

〒520-0802
大津市馬場一丁目8番19号

- 施設常任委員会委員
- 公共施設対策特別委員会委員

安全で安心な住みよい大津

市議会議員として、早や三期12年が経過しようとしています。そして今回の任期満了をもって引退させていただくことになりました。

「みなさんと一緒に、安全で安心な住みよい大津づくり、活気となごみのある地域づくり」を信条に政治活動に取り組み、12年間、地域の課題解決、市政に対する数々の問題提起や要望、提案を行い精一杯取り組みました。

また、議長・副議長・委員会委員長等の大役を仰せつかり貴重な体験もさせていただきました。

この間、市民の皆様、職員の皆様には、一方ならぬご支援と激励としてご指導を賜りましたことに衷心より御礼申し上げます。

今後は、一市民として地域での活動、青少年の健全育成に向け活動を続けてまいります。

結びに、大津市と大津市議会のさらなる発展を心からご祈念申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。

感謝

基本政策 ① 福祉の充実を進めます。
乳児から高齢者まで、切れ目のない施策を推進し、笑顔あふれる地域づくりを目指します。

基本政策 ② 大津市南部地域の振興に汗を流します。
新名神スマートインターチェンジの利活用、県道大津南郷桐生草津線並びに、大戸川ダムの早期完工に向けた整備促進や南部地域の振興対策に取り組みます。

基本政策 ③ 災害に強い地域づくりを進めます。
市民が安心安全に暮らすことのできる地域にすべく、住民の声を聞き、河川や道路管理について、市、県、国へ積極的に働きかけていきます。

利他を尽くし、日々新
宣言

大津市政に市民の声を届ける「かけ橋」を担います。
生活者の視点で市政に暮らしの声を届けて、ウィズコロナ社会での新しい生活様式の変化に順応していくまちづくりを推進します。

重要課題 6つの政策「現場主義」

- 1 医療・介護の充実（健康維持、新型コロナウイルス感染症対策、介護者保護）
- 2 シルバー世代の生きがいづくり（人生100年時代の日々の充実）
- 3 生涯学習・まちの歴史学習（公民館・自治会館の活用）・地域自治・まちづくりの連携推進
- 4 男女共同参画、市民協働による世代間交流づくりの推進
- 5 子育て支援、青少年育成、子ども安全（セーフティネット・通学路の安全）の確立
- 6 防災、環境問題（ごみ、美化活動、ゼロカーボン社会の推進、公園の整備）対策の強化



幹事(会計)
てらだひでゆき
寺田英幸

〒520-2134
大津市瀬田一丁目26番23号

- 施設常任委員会副委員長
- ゼロカーボンシティ推進対策特別委員会委員

市議会 2月通常会議

会派代表質問

湖誠会 近藤 眞弘 幹事長



近藤 眞弘 幹事長・代表質問

- 市長就任後3年間の評価と今後の市政運営について
- 令和5年度の予算編成について
- 持続可能な組織運営について
- 道路網整備の推進及び道路維持管理の強化について
- 子ども・子育て支援の推進について

Q 市長就任後3年間の評価と今後の市政運営、大津市総合計画第2期実行計画の取組状況および、今後の見解について伺う。

A 新型コロナウイルス感染症の対策に継続的に取り組むとともに、物価上昇に直面する市民や事業者の皆さまへの支援など、暮らしと営みを守るため、機動的な対応に努めてきた。

同時に、大津港への県立琵琶湖文化館後継施設の誘致やサイクルステーションの開設、大津湖岸なぎさ公園市民プラザの再整備などのにぎわいづくり、小中学校の長寿化改良やトイレ改修、中消防署の移転新築など、未来の大津のまちづくりに向けた「種まき」を意識した様々な取組を進めている。引き続き、誰もが安心して暮らし、活躍できる「夢があふれるまち大津」の実現を目指していく。

Q 令和5年度の予算編成について、どのような点を重視して編成作業にあられたのか、また、必要とする事業費をどのように把握し、当初予算に反映されたのか伺う。

A ポストコロナで顕在化することとなった地域社会や地域経済における課題に積極的に取り組み、大津市総合計画第2期実行計画に基づく各種施策のさらなる推進を図ったものである。

その上で、国県補助金等の確保と基金の有効的な活用に加え、効率的で効果的な支出等により、財政規律の堅持にも意を用いて予算を編成した。編成にあたっては、予算要求所属からの要求の背景や事業の効果、熟度について精査するとともに、過去の決算状況を勘案しつつ編成した。

Q 令和4年度当初予算に掲げた市内中小企業等の持続的発展に向けた取組状況について、また、今後の地域産業支援についての見解を伺う。

A 今年度の商工業振興施策推進の取組については、創業に必要な経費の一部を補助する創業促進事業費補助金のほか、商工団体等提案事業補助金、生産性革命推進事業補助金など、様々な事業に取り組んでいる。また、本社機能の市内への移転促進に対する補助制度の新設をはじめ事業者の主体的、積極的な取組への後押しとなるような必要な支援を行っていく。

大津商工会議所の大津企業景況調査では、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込んだ景気動向指数が令和4年4月から6月の第2四半期頃から改善しており、本市としては、その時々の方々の事業者の意見や、商工団体や金融機関など関係機関の情報などを総合的に判断し、市内事業者に寄り添った取組につなげていきたいと考える。

Q 道路網整備の推進及び道路維持管理の強化について、現在の進捗と将来道路網の整備について、財源の考え方も併せて、見解を伺う。

A 市長就任以来、積極的・継続的に、国や県への要望を重ね、財源確保に努めてきたことにより、仮称・新名神大津スマートインターチェンジに接続する市道、琵琶湖大橋から続く国道477号の4車線化事業と連携した市道の整備について、着実な事業進捗をしている。そのほか、整備中の道路についても、早期の供用開始に努める。道路維持管理については、新年度予算において増額し、地域の要望に応え、適切に取組む。

Q 子ども・子育て支援の推進について、市長就任後における本市の子ども・子育て支援施策の成果と、ポストコロナ社会の課題への取り組みについて伺う。

A 子ども・子育て施策に関しては、出産前からの切れ目のない支援として、産後ケア事業を開始、また、質の高い幼児教育・保育の充実として、公立保育園を民営化する方針を撤回するとともに、幼稚園の規模適正化に関しては、再編基準を地域の実情に合わせて検討できるよう見直した。

「ポストコロナ社会の課題への取組」としては、市独自の新生児への特別定額給付金を継続しつつ、3人目以降の児童生徒の給食費を免除し多子世帯を支援することに加え、中学校卒業までの医療費助成の拡充を行い、子育て世帯の経済的な負担の軽減を図った。

ひきつづき、子どもたちが健やかに成長し、保護者が安心して生き生きと子育てできる社会を目指し、子育て施策の推進を図っていく。

※他に1項目の質問あり。

2月通常会議一般質問

質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。*質問順に掲載しています。



竹内 照夫 議員

本市における介護人材確保対策の状況について

Q 介護人材の確保が全国的な課題となる中、本市でも取り組みの強化が求められるが、本市における介護人材確保対策の状況は。

A 本市独自の介護人材確保対策として「おおつ介護に関する入門的研修」「介護事業所向けのオンラインセミナー」「介護人材確保・定着総合補助金」などを実施するとともに、今年度は「業務改善等コーディネーター派遣事業」など、事業所における業務改善も支援していく。また、介護職の魅力発信や理解促進としては、若い世代に介護の仕事を手近に感じていただけるよう、介護職員を外部講師として中学校へ派遣する「学校向け出前講座事業」に取り組むほか、各団体と協力して啓発イベントを開催するなど、市民に広く情報発信していく。

※他に1項目の質問あり。



川口 正徳 議員

大津市総合防災訓練について

Q 総合防災訓練は、災害時における自助、共助、公助を確認する機会として、また行政と市民が一体となって定期的に開催し、災害時における命を守る行動を再確認する場として必要不可欠と考える。令和4年度の開催を振り返っての総括は。

A 総合防災訓練で得られた知見をもとに、今後も初動支所班や避難所担当員が学区の訓練に参加するなど、災害時に円滑に連携できるよう努めるほか、会場運営の課題に対しては、会場配置図の周知に努めるなど参加者の皆様に訓練の全体像が分かりやすくなるよう工夫をする。訓練は市民の防災意識の向上を目的のひとつとして実施しているものであり、参加を促す効果的な周知方法について、地域と連携しながら検討していく。

※他に4項目の質問あり。



竹内 基二 議員

初動支所班体制について

Q 初動支所班員は、災害発生時に地域の自主防災会などとの連携のもと、被害状況の把握や避難所との連絡など重要な役割を担っているが、初動支所班員の顔を地域の人達が知らない、と、上手く機能しない懸念がある。

初動支所班員を対象とした防災訓練などの実施状況と、体制強化に対する見解を伺う。

A 毎年度、出水期前に初動支所班業務の研修を行うとともに、初動支所班員などに学区の防災訓練への参加を促し、顔の見える関係づくりに努めている。また、令和4年度から初動支所班、避難所担当員、災害対策救助隊を合わせて123名増員し、長期化した際にも交替しながら災害対応できる体制を整えた。今後も円滑な避難所の開設運営ができるよう努めていく。

※他に1項目の質問あり。



寺田 英幸 議員

児童・生徒の通学路及び幼児・園児の散歩道のあり方について

Q 地域の大人が通学中の子どもを見守り、あいさつを交わすことで、子どもにあいさつの大切さへの気づきが生まれている。各学校で地域のスクールガードの活動支援により交通事故などを防ぐ対策を講じられているが、登下校時の子どもたちの見守りに対する見解を伺う。

A 通学路の中でも交通量が多い箇所には教員や保護者、地域のスクールガードが旗を持って立ち、安全に登下校できるよう見守っており、あいさつによって子どもとスクールガードのコミュニケーションが深まることは、地域の見守り体制の強化につながる。また小学校では、下校時間帯を中心に保護者や地域の方と連携して防犯パトロールを実施し、不審者情報などがあれば警察と連携し、教員もパトロールを実施するなど、安全確保に努めている。

※他に2項目の質問あり。